

社会資本整備審議会 道路分科会  
令和2年度 第2回 四国地方小委員会  
議事概要

1. 日時：令和2年10月9日（金） 13：30～14：30
2. 場所：高松サンポート合同庁舎北館 13階 1306・1307会議室（WEB）
3. 出席者  
[委員長]  
渡邊 法美 高知工科大学経済・マネジメント学群 教授  
[委員] ※五十音順  
倉内 慎也 愛媛大学大学院 理工学研究科生産環境工学専攻 准教授  
野々村 敦子 香川大学創造工学部創造工学科 准教授  
羽鳥 剛史 愛媛大学社会共創学部環境デザイン学科 准教授  
三好 俊作 四国経済連合会 専務理事  
山中 英生 徳島大学理工学部長社会基盤デザイン系 教授
4. 議事内容  
(1) 四国地方小委員会について  
(2) 災害に強い国土幹線道路ネットワークについて
5. 審議結果  
災害に強い国土幹線道路ネットワーク（四国ブロック版）（案）は、当小委員会として、妥当と判断する。
6. 主な意見
  - ・災害に強い国土幹線道路ネットワーク整備を進めることは重要。
  - ・災害リスクを踏まえ、目標を掲げ、優先度を定めて整備を進める必要がある。
  - ・災害に強い道路ネットワーク整備には、地域の持続的な発展のためにも中長期的な投資計画の策定が望ましい。
  - ・今回の取組の3本柱である、ミッシングリンクの解消、4車線化、ダブルネットワークの考えは良いが、四国ではミッシングリンクの解消が他の取組により遅れるような事態は避けたい。
  - ・鉄道などの公共交通の脆弱な現状を踏まえ、高規格道路への集中的な投資を配慮されたい。
  - ・災害に強い国土幹線道路ネットワークの計画と合わせて、信頼レベルに応じた交通規制など運用面も併せて検討頂きたい。
  - ・人口が減少し、ストックも老朽化する中、選択と集中の視点も必要。